

町内会・区加入への手引き



富士市町内会連合会

目次

1. 町内会・区の活動とは
2. 町内会・区の意義とは
3. 町内会・区への加入を呼びかけ前に
4. 訪問時に注意すること

町内会・区の活動とは

<防災>

地震などの自然災害をはじめとした不時の災害に備えるため、自主防災会を組織し、防災訓練の実施や防災用品の購入など、地域住民の防災対策に取り組んでいます。また大規模災害時は公的機関の援助「公助」が対応しきれないため、地域単位での協力「共助」が非常に大事な役割を担うことになります。



<防犯>



皆さんが安心して生活ができるように防犯パトロール、防犯カメラの設置、防犯灯の維持管理などに町内会・区が取り組んでいます。また子どもたちの登下校時に子どもたちが安全に通えるよう、通学路の見守りなども行っています。「自分の町は自分たちで守る」という気持ちで地域の安全・安心を支えています。

<福祉>

サロン活動を通して地域の皆さんが気軽に集まれる場所を設けたり、高齢者の生活をサポート（電球の交換や買い物への同行など）するなど、みんなが助け合い、気持ちよく暮らせる地域づくりに取り組んでいます。またご近所同士で「家族の状況」がある程度分かっているならば、気にかけることができます。「福祉」は行政や福祉事業所だけがもたらすものではなく、ご近所付き合いによる「共助」の作用もとても重要です。



<情報共有>

市や町内会・区のお知らせは、回覧板等を使って、生活するうえで必要な情報をお知らせしております。地域の情報は限定的であるため、市のホームページに掲載していない情報もあるため、町内会・区を通しての情報は貴重なものです。また町内会・区に入っていることで、ご近所の交流が深まり井戸端会議や日頃のあいさつなどでも貴重な情報が得られます。



<環境美化>



公共的な場所（公園・道路など）の草刈りや清掃、ごみ捨て場の管理など地域環境の維持に必要不可欠な業務を町内会・区の皆さんが行っています。きれいで住みよい町は町内会・区の皆さんの活動があるから維持できています。

<交流・親睦>

地域住民の親睦を大切にし、地域のきずなづくりを進めるため、お祭りなどの老若男女が誰でも気軽に参加できる行事を開催し、交流づくりに取り組んでいます。また昔から続いてきた伝統文化の継承の多くは町内会・区が担っています。大切な伝統文化を消さないためにも町内会・区の存続は重要です。



町内会・区の必要性とは

近年、少子高齢化やライフスタイルの変化などに伴い、近所づきあいの機会が減ってきており、昔のような地域のお祭りや子ども会の行事等に参加し、ご近所同士の交流や地域の繋がりを育むということは当たり前ではなくなってきました。

しかし、近年の多発する大規模な災害などでは、近隣住民との助け合いにより困難を乗り越えた事例などが取り上げられ、ご近所さんとの顔の見える日頃のおつきあいが、気軽に協力し合える温かな関係を育み、いざというときに助け合える大きな力になると考えられます。

さらに、近年、福祉、防災、環境などの生活や地域に密接する様々な課題が増加しており、その解決のためには、地域コミュニティの強化が必要であるとともに、地域の課題解決の担い手として、町内会・区の存在がますます重要となってきました。

また行政においても町内会・区の協力なしには実施することのできない多くの事業があり、町内会・区には、行政サービスの一部をご支援いただいています。例えば、広報紙や回覧物の配布、防犯灯の管理などが挙げられます。町内会・区の活動にこうした側面があることを知らない人もいるかと思いますが、すべてのサービスを行政が行うことは困難です。

町内会・区には行政だけでは手の届かないきめ細やかな機能があり町内会・区の活動によって地域が成り立っているといっても過言ではありません。町内会・区の活動成果は目に見えるものからそうでないものまで多岐に渡ります。地域に暮らし、生活を維持していく必要からも、町内会・区の意義は高まっていると考えます。

町内会・区への加入の声掛け前に

行政では転入される方に町内会・区への加入をお願いしています。しかし、加入の決め手は実際の窓口となる町内会・区の皆さんのお力にかかっていますのでご協力をお願いします。

< 1. 町内会・区加入を案内する体制を整えよう >

転入者に対して誰がどう案内するか、また「町内会・区へ加入したい」と言われたらどのような手続きが必要かなど、加入に関わる決まりを作り町内会・区で共有しましょう。

< 2. 町内会・区の活動が見える化しよう（加入案内チラシの作成） >

町内会・区への加入に対する不安理由の大きなものの一つが「活動がわからない」ことです。「町内会・区費などのお金に関すること」、「役員の仕事やその選任の仕方」、「ごみ捨て場の掃除当番の頻度」などが挙げられます。既にお住まいになっている方は「当たり前」でも、転入者には新鮮なことばかりです。わからないものに手を出すのは不安なため「とりあえず加入しないでおこう」という心理も働いてしまいます。転入者が一目見て町内会・区の活動などがわかるような加入案内チラシを用意しましょう。また加入案内チラシを作成することで役員の負担軽減につながります（町内会連合会にて加入案内チラシを作成しましたのでご活用ください）。



< 3. 加入案内する対象を広げよう >



現在、加入案内する対象としては一戸建ての世帯もしくは分譲マンションの世帯がメインではないでしょうか。アパートに住んでいる方は「住んでいるかわからない」からといって勧誘の対象外としていないでしょうか。アパートに定住している方も多くいらっしゃいます。町内会・区はそこに住む人たちの集まりなので「住んでいる」という事実があれば加入できる・加入してもらおうような町内会・区にして勧誘対象を拡大しましょう。またアパートに住む方も地域の街灯や近所の公園などを利用しています。町内会・区の活動であることを案内することで関心を持つ方も増え、加入につながります。

訪問時に注意すること

町内会・区加入をうながす上で最も大切なことは、町内会・区の活動を知ってもらうことです。転入者への訪問は、直接説明できる良い機会であるため有効です。加入の案内は勇気がいるものですが、誰かが勇気を出して行動を起こすことで、地域の輪を広げることができます。

<1. 加入案内の準備>

口頭だけでは忘れてしまうこともあるため、できるだけ資料として渡して伝えることで、町内会・区の活動が伝わりやすく、理解もされやすいです。

推奨するもの：加入案内チラシ、訪問者の連絡先・名刺、加入申込書

<2. 案内する時期、体制を決める>

○案内時期

転入者への案内は、居住直後、間を置かずに行うと効果的です。また行事等の開催と合わせることで案内しやすくなります。

○訪問者、人数

加入後、普段やりとりをするため、班長や組長など身近な役職の人が訪問するとよいでしょう。慣れないうちは複数名で訪問してもよいですが、あまり大人数で訪問すると威圧感を与え、「加入させられた」という印象になりかねないので注意が必要です。

<3. 訪問する>

家事や出勤などで忙しい朝方や食事時、夜は避け、相手が対話しやすい時間帯を選びましょう。また訪問時は長居することなく、5分程度で簡潔に説明しましょう。初めての訪問に時間をかけすぎると、かえって逆効果になる場合があります。加入の意思表示があった場合以外、結論を急がず考える時間を与えましょう（町内会・区の加入は任意です）。再訪問する場合は、1週間程度空けましょう。転入者にはごみ出しのルールについて説明すると、町内会・区の必要性を認識してもらいやすいです。

加入を断られてしまったら・・・

加入を断られたときには、気にし過ぎないようにしましょう。「またお祭りの時期にでもお誘いしてみよう」くらいの気持ちで声かけする方が、長い目でみると信頼関係づくりに役立ち、その後の加入につながります。また、声かけにも相性があるので「次の機会には〇〇さんからお話ししてもらおう」など、声かけをする人材を変えることも効果的です。

<4.加入後の配慮>

本人の同意の上、「〇〇さんが加入しました」と班や組のメンバーに町内会・区の定例会で紹介しましょう。新規加入者が他の会員と顔見知りになることで、安心して地域で過ごせるようになり退会の予防にもつながります。



富士市町内会連合会

事務局：富士市役所まちづくり課

電話番号：0545-55-2887

〒417-0801

富士市永田町 1 丁目 100 番地